



岩国米軍基地って？

山口県にある岩国米軍基地。今年の3月末、住民には何のお知らせもなく、厚木基地から空母艦載機部隊が移転を完了しました。配備された航空機の総数は160機に達し、極東最大級の米軍航空基地となりました。

戦争のツールとしてますます増強！

岩国米軍基地のホームページには、「朝鮮への窓口」と書かれています。そう、“有事”には朝鮮半島へ攻撃に行く航空隊の出撃基地として、莫大な費用をかけて増強されてきたのです。

いま南北の外交的努力で、朝鮮半島の緊張を回避し、平和的解決の道が拓かれようとしています。このような平和への努力に水を差すものとして、辺野古新基地建設をはじめとする米軍基地増強や自衛隊との大規模な合同軍事訓練が、強行されています。

異議あり！“基地との共存”

岩国（山口県）は安倍首相の「お膝元」と言われ、“基地と共存する街”と呼ばれてきました。トンデモありません！ほとんどマスコミでは報道されませんが、岩国米軍基地の大強化に反対する住民たちが、「異議あり！“基地との共存”市民行動実行委員会」を結成して、沖縄や全国の反基地住民とともに、米軍基地は要らない！と粘り強く声を上げ続けています。



沖縄、岩国、…の反基地運動と連帯しよう！

米軍基地は戦争と直結しています。強盗、傷害、女性への性的暴行、…などの犯罪が、基地周辺にはたえません。また、強烈な爆音を伴う訓練が、昼夜を問わずおこなわれています。飛行落下事故もあとを絶ちません。岩国でも、「盆と正月、夜間は飛ばさない」という約束を破って、米軍は好き放題をしています。岩国では、たまりかねた市民が、署名活動を始めました。

米軍基地問題は日本の外交姿勢を問う全国の課題です。関心をもって、連帯していきましょう。

労働(組合)運動の反戦闘争を考えよう！

恥知らずの侵略戦争を二度とくり返すまいと、戦後、日本の労働(組合)運動は、反戦・反基地・反改憲などの平和を求める闘いを担ってきました。非正規雇用労働者が増え、労働組合の組織率が低くなる中で、労働者・労働組合の反戦闘争をどう強めていくのか！ 沖縄・岩国に連帯する全国の労働者・労働組合の有志が集まって、岩国住民に連帯する毎秋の岩国行動の中で、岩国・労働者反戦交流集会を開催し、労働者反戦の闘いの歴史、現在の課題や困難、新しい試みや成功例…などを共有し、討論できる場を作ってきました。今年、第12回目の反戦交流集会がおこなわれます。誰でも参加できます。ぜひ賛同し、参加してください。